日本のスマホ利用者は2400万人、昨年末から4割増

米調査会社comScoreの日本法人、コムスコア・ジャパンは8月21日
、日本の携帯電話利用状況に関する調査結果を発表した。今年4～6月平均で、携
帯電話ユーザー全体の23.5％に当たる2400万人以上がスマートフォンを利用しており、昨年末の時点と比較して43％増加したという。
日本の携帯電話契約者5000人以上を対象に実施した結果をまとめた。4～6月の平均では、スマートフォン／フィーチャーフォン（従来型携帯電話）の両方を含む13歳以上の携帯電話ユーザー数は約1億270万人だった（複数端末利用者の重複は排除）。そして、スマホ利用者の増加につれて、ケータイアクセサリー（ケース、モバイルバッテリー、ケーブルなど）もますます大人気になった。
6月時点のスマートフォン向けOSシェアは、トップがAndroid（64.1％）で、2位のiOS（32.3％）や3位のWindows Mobile／Windows
Phone（3.2％）に大きく差をつけた。また、3月時点と6月時点のシェアを比較すると、Androidが62.2％から2.1ポイント増加している のに対し、iOSは33.7％から1.4ポイント、Windows Mobile／Windows Phoneは3.7％から0.5ポイントそれぞれ減らしていた。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com